

令和5年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.1

R5. 4. 1 「美しい花が新年度を迎えてくれました」



春休み中、茶華道部の皆さんが「生け花」を校長室に飾ってくれました。室に入った瞬間からその美しい彩に癒されます。「茶華道部の皆さん、いつも有り難うございます！」

本校には作法室があり、茶華道に必要な用具等も完備しています。また、定期的に専門の先生もお見えになります。新入生の皆さんも一度見学してはいかがでしょうか。



One for all, All for one. No.2

R5. 4. 8 「着任式」

今年度、豊富なキャリアをお持ちの2名の先生方を新たにお迎えしました。お二方とも各々の分野で輝かしい実績をお持ちの先生ですので、今後のご活躍が大いに楽しみです。

【伊丸岡 圭一先生】 国語・書道を専門に道立高5校を歴任されたあと、ご縁があり本校に赴任いただきました。教科以外にも司書教諭や衛生管理者の資格もお持ちになるなど、実に多彩な才の持ち主です。卓越した書道の才はもちろんですが、吟詠にも関心をお持ちとのことですので、是非皆さんで聞かせていただく機会を持ちたいですね。



【山下 元先生】 英語、進路指導のスペシャリストとして〔手前が伊丸岡先生、奥が山下先生〕道立高4校を歴任されたあと、やはりご縁があり本校に赴任いただきました。合唱に精通されているほか、ギターにも造詣が深く、壊れているギターをリユース等して楽しむそうです。休みの日は山菜取りに出かけるなど自然との触れ合いも大切にされています。

私はお二方とも以前から懇意にさせていただいていますが、教科力はもちろんのこと、人間的にも本当に素晴らしく信頼できる先生方です。生徒の皆さんの相談にも親身になってくれる心優しい先生方ですから、授業等で直接関わってなくても是非お声掛けをしてみてください。

One for all, All for one. No.3

R4. 4. 8 「始業式」

久しぶりに全校生徒の成長した姿と対面できることは、校長としてこの上ない喜びです。各々が上級学年へと進級し、新たな目標をもって新年度をスタートします。

4月は「出会いの月」とも言われるように、まもなく入学してくる1年生との出会い、新しいクラスメイトや先生方との出会い、加えてマスク着用義務が緩和される中での新たな出会いなど、様々な出会いが待っています。そうした急激な生活環境の変化は、時として他者とのコミュニケーションを消極的にしてしまうことがあります。



始業式では、大切なコミュニケーションを図るためにも、是非「挨拶」の習慣をつけて欲しいことをお話しさせていただきました。日本人にとって「挨拶」はコミュニケーションには欠かせないものであり、社会人としての最も基本的な行為でもあります。

「挨拶」を通して、多くの出会いから良好な人間関係を築き、前向きで豊かな人間性を培ってくださることを期待したいです。

One for all, All for one. No.4

R5. 4. 8 「入学式」

多くの父母の会、同窓会役員の方々や保護者の皆様が見守る中、新たに320名の皆さんがご入学されました。在校生・教職員を代表し、心よりお祝いと歓迎を申し上げます。

新入生の皆さんには、各自の目標に向かって、学習活動はもちろん、部活動、学校行事、生徒会活動等に全力で取り組み、やがて持続可能な社会の創り手として大きく羽ばたいてくれることを期待しています。



「誓いの言葉」では、新入生代表の入山 夏帆さんが「これから始まる高校生活では、勉強や部活動に精一杯打ち込み、充実した三年間にしていきます。(中略) 私たち新入生はお互いに良い影響を与え合い、良い刺激をし合える関係を築いてきます。」と力強く誓ってくれました。

One for all, All for one. No.5

R5. 4.10 「対面式&部活動紹介」



対面式は、在校生が新入生を歓迎する生徒会行事です。生徒会総務役員の紹介に続き、部活動紹介がありました。壇上のスクリーンに各部の活動内容やコメントが映し出され、新入生も興味関心のある部活動には真剣に見入っていました。

本校には体育系、文化系の部活動に加え、同好会、外局を含めると30近くの活動があ

ります。部活動の良いところは、なんといっても異なる学年と一緒に活動したり、他校生と交流することで、知らず知らずのうちに視野が広がり、社会性や協調性が育まれることだと思います。「興味・関心のある、これなら自分でも頑張れそう、これなら自分を成長させることができそう。」という活動があれば是非挑戦してみてください。



最後に、生徒会長の3年 元山 唯さんから温かな「歓迎」の言葉があり、それに対して、新入生代表の 木幡 斗吾君が「感謝」の言葉を返しました。

校風は生徒と教職員が一緒になって創り上げていくものです。生徒自ら考え、自ら行動を起こす、こうした生徒会行事を今後も大切にしていきたいと思っています。

One for all, All for one. No.6

R5. 4.10 「スマホ安全教室」

現在の端末（スマホ等）はパソコン並みの性能を持つだけでなく、架空の世界や危険なサイトへの通信も容易になり、私たちの理解を超える機能を有しています。便利とは言え、誤った使い方をすれば取り返しのつかない事態を招くこともあります。

昨今は、フェイスブックやライン、ツイッター等でのやりとりからの誹謗中傷、ネット商品の契約や売買等によるトラブル、ゲームへの依存症等、スマホの使用機会の増加に伴い、関連する問題も多発しています。

また、使い過ぎによる寝不足や不規則な生活からの体調不良、学習時間を確保できないことなどは、将来の夢を自ら摘み取ってしまうようなものです。

ご家庭におきましても、是非「使用ルール」を決めるなどして、生徒の自制心の涵養にご協力をお願いします。



One for all, All for one. No.7

R5. 4.13 「進路講話」

2年生を対象に「進学・就職に向けて、2学年として知っておくこと」と題した「進路講話」を実施しました。進学指導のスペシャリストを講師にお迎えし、様々な上級学校の特色や選択時の注意事項、加えてこの一年でやるべきこと等をお話いただきました。



2学年と言え、多様な進路のあり方を理解し、その中から自分に適した進路目標を見出していく大切な時期です。進むべき道が明確になれば、自と学習意識やモチベーションを高まります。

漠然と過ごす一年と、明確な目標を持って過ごす一年では、雲泥の差が生じることは言うまでもありません。今日の講話を機に「充実した日々」を心がけましょう！

One for all, All for one. No.8

R5. 4.14 「続：進路講話」

2年生に続き、3年生では「クラフトキャリア～ミリオクに気づく～」と題した講話を実施しました。殆どの生徒が既に進路を決めていますが、最終段階での選択は「自分の意志で決めることが重要！」と改めて気づかされたようです。

『「親や先生に勧められ」とか「友人も行くから」などと安易に進路を決めてしまうと、ミスマッチに気づいた時に必ず他者のせいにします。一度きりの人生だからこそ、最後は自分の意志で決断しなければなりません。それが一個人として社会に責任を負うということです。』と講師の先生はお話しされました。

「クラフト」とは「手作り」、自分自身で人生を切り拓いていくの大切さを学んだ一日となりました。



One for all, All for one. No.9

R5. 4.18 「見学旅行説明会」



高校生活最大の行事とも言える「見学旅行」説明会を、昼と夜の二部構成で実施しました。昼の部は生徒並びに保護者、夜の部は保護者のみを対象に、行程、見学地のポイント、宿泊ホテル、費用に至るまでパワーポイントを用いて各旅行業者にプレゼンをしてもらいました。

本校では、「沖縄」、「関西」、「台湾」の3コースを用意し、それぞれのコンセプトに合わせて生徒が自由に選択できるようになっています。

コロナ感染対策が緩和されつつある中、生徒が楽しみにしている見学旅行が漸く以前の形態に戻りつつあることは大変喜ばしいことです。

どのコースも良く練られたプランですので迷われることと思いますが、保護者の皆様にはお子様とよく話し合いいただき最終決定をお願いしたいと思います。

One for all, All for one. No.10

R5. 4.19 「新入生オリエンテーション」

入学式から10日経ちましたが、新入生にとっては中学校との違いに未だ戸惑うことも多いかと思います。本校では少しでも早く高校生活に馴れてもらうために、オリエンテーション「One Day研修」を大雪アリーナで行いました。

この研修は、学校のきまりを理解し高校生としての自覚を持つこと、仲間との交流を通して不安や緊張を少しでも和らげることを主なねらいとしています。

全体のオリエンテーションでは、高校生活の心構えを



手始めに、生徒指導、教務、進路指導の内容について説明した後、担任団による校歌紹介やアルバム用写真撮影などを行いました。

クラス毎のオリエンテーションでは、担任のクラス経営方針を聞いた後、前期のHR役員の選出などに時間を取りました。

昼食を挟んで午後からは、様々なレクリエーションを通して学年団としての親睦を深めました。今日をきっかけに沢山の友達ができるといいですね。

One for all, All for one. No.11

R5. 4.26 「前期HR役員任命式」



前期HR役員の任命式を体育館で行いました。

HR役員の皆さんはクラス代表であり、大きな役割と責任を担うことになります。クラスをまとめたり、意見や要望を生徒会総務部に伝えたり、各種行事の中心となって牽引したりと多岐にわたります。それだけにやりがいもあるはずです。

前期HR役員の皆さんのご活躍を期待しています。

One for all, All for one. No.12

R5. 4.26 「花まつり」

コロナ禍の影響で、4年ぶりに全校生徒による「花まつり法要」を体育館で執り行いました。この法要はお釈迦様のご誕生をお祝いする儀で、壇上にはお釈迦様の逸話に関連したものが祀られます。



各クラスの代表生徒が、お釈迦様を取り囲んで「灌仏（かんぶつ）」の儀を執り行います。この儀は、お釈迦様のご誕生に天が感動し「甘露の雨」を降らしたとことになぞらえ、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの心を表すものです。

法話では、宗教教育担当の藤島教諭から「お釈迦さまは、一人一人の命の尊さを唱えています。

そして、相手を想うことと共に自分をも大切にすることの教えを説かれました。」と生きる意義についてお話がありました。

厳粛な雰囲気の中、全校生徒が緊張感を保ち整然と法要に勤める姿がとても印象的でした。



One for all, All for one. No.13

R5. 4.26 「交通安全指導」



全校生徒を対象に交通安全指導を行いました。好天であれば、外で自転車の安全点検やステッカー貼りも行いますが、あいにくの雨のため、各HRで交通安全に係る注意事項を再確認しました。

特にこの時期は自転車の利用者が増えます。今は自転車も車と同じく、大きな責任を担う乗り物として扱われるようになりました。日頃から自転車の安全利用と管理の意識向上に向けて注意喚起を継続していきます。

また、登校時に本校教諭が校門前で交通安全を呼びかけ、交通指導にあたっています。生徒とのコミュニケーションや信頼関係を図る意味でも大きな効果を期待したいです。

朝は一般の方の通勤時間と重なり交通量も多いことから、車との接触等が懸念されます。生徒の皆さんは出来る限り、余裕を持って登校するようにしましょう。



One for all, All for one. No.14

R5. 4.26 「大学入試入学説明会」



道内外の馴染みのある国公立大、私立大、短期大 60 校近くが、市民文化会館に一堂に会し「入試入学説明会」を実施しました。

本校からも 30 名以上の 2・3 学年の生徒が参加し、各々が関心のある大学から話を聞いてきました。

最近では新設の学部学科も増え、加えて入試のあり方も多様化してきています。毎年新しい情報をいかに速く把握できるかが、学習対策を有効化させる大きなポイントになります。今回のイベントは、進学に対する意識啓発に大きく影響したことと思います。

One for all, All for one. No.15

R5. 4.28 「校内企業説明会・進学ガイダンス」

3 年生の就職希望者を対象とした企業説明会と、進学希望者を対象とした進学ガイダンスを並行して実施しました。

この時期の 3 年生は漠然とした進路希望は持ちながらも、各企業の具体的な業務内容や上級学校の学部・学科の特色、専門学校で取得できる資格など、まだ十分に把握できていないことも数多くあります。



校内企業説明会では職種の異なる各企業様にご協力をいただき、視聴覚機器を活用しながら会社の特色や仕事の流れなどを丁寧に説明していただきました。また、進学ガイダンスでは大学、専門学校の研究内容や取得できる資格などについて説明していただきました。

どのブースにおいても真剣に耳を傾ける生徒ばかりで、進路実現に向けた意識の高さが感じられました。